

事業実施報告

| | | | |
|--------|--------------------------------------|------|-----|
| 開催日 | 令和5年1月21日(土) ※作品展示 1月31日(火)～3月31日(金) | | |
| 事業名 | 楽しく！書道パフォーマンス | | |
| 開催場所 | 国立岩手山青少年交流の家 | 参加人数 | 12人 |
| 参加学校名等 | 学校法人岩手女子奨学会 岩手女子高等学校書道部 | | |
| 関係機関名 | 財団法人盛岡市文化事業団 市民文化会館 姫神ホールロビー (展示会場) | | |

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

【事業の内容】

本事業は、書道パフォーマンスを通して、我が国の伝統文化に対する理解を深めるとともに、パフォーマンスの様子を発信することで、青少年の文化芸術体験の普及啓発に寄与することを目的に実施した。当施設公式YouTubeチャンネルでの動画配信と2会場での作品展示を行い、多くの方々にご覧いただく機会を作った。

【事業の成果】

① コロナ禍において文化芸術体験の場を提供できたこと

コロナ禍で書道パフォーマンスを行う機会が制約されている中、本事業において最大寸法の作品に挑戦できる環境を用意できたこと、当施設利用者にも観覧いただいたこと、パフォーマンスの様子を動画撮影して発信できたことは、参加者の自己肯定感の醸成につながった。参加者の感想には、「一番良いパフォーマンスができた」、「楽しくできた」、「平和を願う気持ち、ふるさとを想う気持ちを、迫力をもって表すことができた」等あり、満足度の高い取組になったと解する。顧問の先生からも「コロナ禍でパフォーマンスの場が数少なかった。最高の舞台を用意していただいた」とおっしゃっていただき、当施設ができる最善の体験環境を用意できたことと解する。

② SNS等の発信力を用いた青少年の文化芸術体験の普及啓発ができたこと

当施設の公式YouTubeチャンネルでパフォーマンスの様子を発信し、現在も多くの方々に視聴していただいている。特筆すべきことは、曲の著作権者がこのYouTube動画をご覧になり、「素晴らしい取り組みに曲を使っていたらいいと思います」とのコメントを寄せていただくとともに、ご自身がパーソナリティを務めるラジオ番組で紹介していただいた。

作品を2会場に展示し、各施設利用者にご覧いただいた。作品を観た方からは「感動した。思いが伝わってきた。迫力のある作品に涙が出た」との声も寄せられていた。

平和を願う気持ちを表した書道パフォーマンスは、奇しくも、機構メッセージ「かけがえのない生命を戦争でうばってはならない。—We must not lose our precious lives to war.—」と軌を一にするものであった。

【課題】

① 施設の設備更新の必要性

館内に水場がなく、参加校が墨汁まみれの筆を持ち帰らなければならなかったこと。念入りの調整とリハーサルを行ったにも関わらず、パフォーマンス中、音響機材が突如シャットダウンするトラブルがあったこと。経年劣化と低温による機材トラブルと推察されること。

② 開催時期の検討

機構本部から示された事業構想に「書初め体験」とあったため、1月に実施したものの、厳寒かつ豪雪の時期であり、参加校の生徒には体調面での工夫、防寒対策などの苦勞をさせたこと。寒冷地においては事業開催時期の検討が必要であること。

状況写真



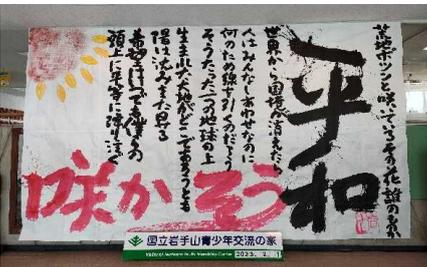
I 円陣を組んで「気合い」の発声



II 真剣勝負のパフォーマンス



III 上から撮影したパフォーマンス



IV テンパークでの展示



V 姫神ホールロビーでの大作展示



VI 公式YouTubeチャンネルで発信